

2022年度 満足度について

■調査と検証方法■

「満足度」や「大学への帰属意識」の設問は14問あります。（下図参照）
各設問に対して、「あてはまらない」「ややあてはまらない」「ややあてはまる」「あてはまる」の4択で回答してもらいました。

検証においては回答をポイント化（「あてはまらない」=1、「ややあてはまらない」=2、「ややあてはまる」=3、「あてはまる」=4）し、その平均を過去4年の回答と比較しました。2022年度の調査対象者数991名、回答率51.36%を検証しました。

■検証■

卒業生の在学期間の変遷の回答を1年生時（橙）、2年生時（黄）、3年生時（緑）、4年生時（茶）と並べてみると、概ね在学期間が増すごとに満足度が上がっていることがわかります。

所属学科（設問9）については1年生時（3.26）から卒業時（3.37）と、上がっていることが解ります。大学や学科の取り組みが、学生から一定の評価を得ていると、捉える事ができます。

図2 学生全体の過去4年間に於いて女子大学についての設問（設問15～17）を見てみると、年を追うごとにポイントが上がっていく傾向が見て取れます。本学に在籍することで女子大について肯定的になっていることが伺えます。

図1 満足度 卒業生 在学期間変遷



図2 満足度 学生全体の過去4年間の比較(2018～2021年度)

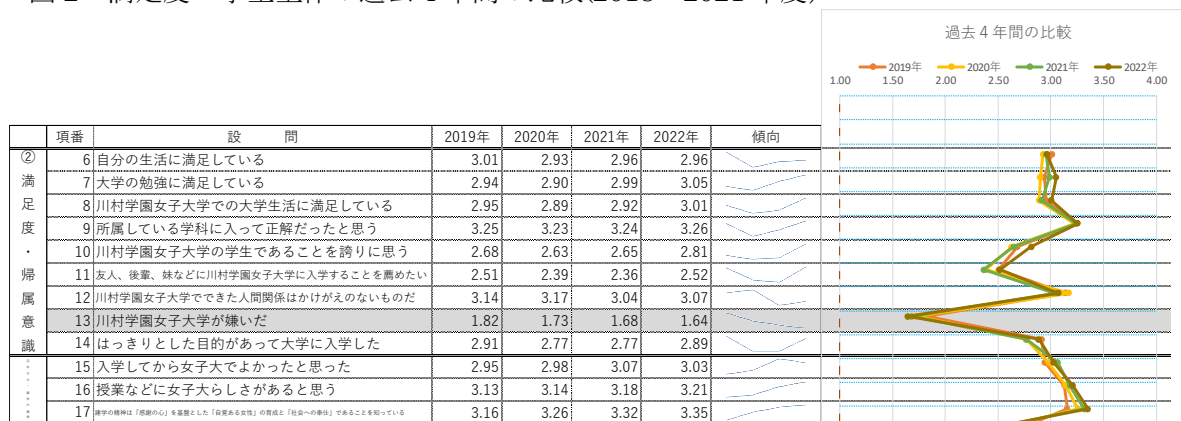


図3 満足度 学年別の比較

